

PINNACLE VACHETTA TAN

エア ジョーダン 1 ピナクル

コストを度外視して、高品質な素材を惜しみなく採用したAJ1ピナクル。そのラインナップの中でも、AJ1本来のマテリアルである牛革の質感を追い求めた逸品が“バケットタン”と呼ばれるプロダクトだ。アップバーは全体をオレンジ系の“タン”色でコーディネート。ヒール部にはアンティーク調のメタルパーツを装着し、ソールはナチュラルホワイトで整えている。シュータンラベルやウイングマークはエンボス仕上げの革パーツを縫い付ける仕様で、シューレースにはワックスタイプを採用し、インソールはキルティング加工を施して高級感を演出。予備のシューレースには革紐を用意する徹底ぶりだ。いずれも素材が持つ美しさを

押し出したディテールで、AJ1が革製品であることを改めて認識させてくれる1足だ。語源にもなっているバケットレザーとは、化学薬品を使用せず、天然のタンニンを使った“なめし革”を意味するもの。その製法自体は珍しいものではないが、手間がかかり、大量生産が前提となる大手スポーツブランドのシューズには不向きなアプローチである。だが、そうしたコストのかかる素材だからこそ、ピナクルに採用する意味がある。バケットレザーは使い込む程にツヤを増し、色合いも深くなっていく。量産品のシューズでありながら、世界に1足だけの相棒に育てる“エイジング”が最大限に楽しめる素材なのだ。バケットレザーは色落ちしやすく、傷も付きやすい。新品状態での見た目も美しく、さらに希少な限定AJ1を着用するのは勇気が必要とする。ただ、“PINNACLE VACHETTA TAN”は新品だけが完成された状態ではない。ストリートで履きこなし、時間を重ねることで、国内の定価、4万円(税別)を超える価値を有する逸品へと成長するのだ。

DETAIL



ピナクルのボックスは華やかなデザインは施されていないものの、スウッシュが質感のあるベントで塗られる特別なもの。“PINNACLE VACHETTA TAN”の定価は税別で4万円と手頃とは思えないが、海外での販売価格は400ドルであったため、為替レートを考慮すると、日本は割安だったのかもしれない。



エイジングが進んだ“PINNACLE VACHETTA TAN”。この状態でも成長の途中で、まだまだ深みを増していく。資料提供:hibiki03004



Release year: 2015
AIR JORDAN 1 PINNACLE
Colorway: VACHETTA TAN/SAIL
Style Code: 705075-201
資料提供: totty_boost

